

## 実践コース 品質技術の実践

付録. 説明・留意点を含む「プロセス移植ガイド」

	分類	観点 (What to do)	説明・留意点
準備フェーズ	適用対象	<input type="checkbox"/> 移植先で必要となる製品・サービスリリースサイクルを確認して、特性により、アジャイル型開発プロセスが必要かを検討しましょう。	<input checked="" type="checkbox"/> 開発サイクル、顧客要望等からアジャイル型開発プロセスが必要かどうかを判定する。
		<input type="checkbox"/> 移植先のプロジェクトの規模を確認して、その規模より、アジャイル型開発プロセスが無理なく実施可能かを判断しましょう。	<input checked="" type="checkbox"/> 一般的には、アジャイル型開発は小規模なプロジェクトに向いているとされる。大規模プロジェクトの場合、メンバの熟練度や開発環境のあらかじめの整備が求められる。
		<input type="checkbox"/> ビジネス要件、ドメイン、サービスの種類を確認して、特性によりアジャイル型開発プロセスが必要かを判断しましょう。	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを次々に繰り返し提供し続けないと競争力を維持できないビジネスではアジャイル型開発が適している。
実施フェーズ	マネジメント	<input type="checkbox"/> 顧客との意思疎通を綿密に行う体制やルールの準備を、プロセス標準に組み入れましょう。	<input checked="" type="checkbox"/> サービス変更の通知方法、顧客との合意形成方法がアジャイル型開発では比較的高頻度で行われる。法務部門等と相談し、サービス変更の顧客への通知方法、合意形成方法を定めておく。
		<input type="checkbox"/> 工程概況をステークホルダ全員で共有するためのツールやルールを、プロセス標準に組み入れましょう。	<input checked="" type="checkbox"/> アジャイル型開発では開発における個人への権限移譲の度合いが高まるため、開発全体の進捗が見えづらくなる。そのため、ツール活用、ルール策定によりチーム内の進捗可視化が重要となる。
		<input type="checkbox"/> レビューは同期型の会議だけでなく、非同期型の会議を積極的に利用し、そのための準備をプロセス標準に組み入れましょう。	<input checked="" type="checkbox"/> アジャイル型開発においてイテレーションごとに同期型の会議でレビューをすると会議による管理負荷が増大する。そのため非同期型の会議によるレビューを積極的に活用する。
		<input type="checkbox"/> PBI（プロダクトバックログアイテム）はコストを考慮して定めた上で、常に見直すことをプロセス標準に組み入れましょう。	<input checked="" type="checkbox"/> 限られたコストの中で対応できるPBIを定め、常に進捗や開発速度、コストを考慮してバックログの優先順位付けを行い、今後の見通しを立てるプロセスを組み入れる（仮）
	<input type="checkbox"/> 開発を外注へ委託する場合、丸投げせず密なコミュニケーション実施に関する合意取得をプロセス標準を組み入れましょう。指揮命令が伴う場合、契約形態にも留意しましょう。	<input checked="" type="checkbox"/> 開発を外注に委託する場合、外注とのコミュニケーションを密に実施するための体制や環境について、あらかじめ合意をとる。指揮命令が伴う場合、法律違反とならないよう契約形態には十分に留意するプロセスを組み入れる（仮）	
	技術	<input type="checkbox"/> 要求の優先度定義や完了基準判断を行うためにルールを、プロセス標準に組み入れましょう。	<input checked="" type="checkbox"/> PBIの定義や完了基準が開発メンバ間でばらついていると管理が難しくなる。そのためルールに従いPBIを計画しレビューする。
		<input type="checkbox"/> レビューチェックリストや標準様式を移植する場合、その必要性を確認し、導入対象を精査しましょう。	<input checked="" type="checkbox"/> 流用プロセスに付帯するレビューチェックリスト、標準様式の理解が浅いまま、レビューのためだけの資料となることを避けるための棚卸が必要となる。
<input type="checkbox"/> 移植先のプロジェクトに必要となるテスト完了の判断基準を予め定義しましょう。		<input checked="" type="checkbox"/> 試験網羅度などの統計指標はアジャイル型開発では必ずしも有効活用できない場合がある。何を評価するか予め定めておくことが重要となる。	
人	<input type="checkbox"/> 移植したプロセスを基に品質保証を実行する人材を育成することを考慮しましょう。	<input checked="" type="checkbox"/> 新組織の品質管理責任者および開発メンバに対して、移植したプロセスを浸透するための教育が必要となる。	